

愛車協だより11月号

令和 5年11月10日発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者:正治博史

愛車協HP・QRコード

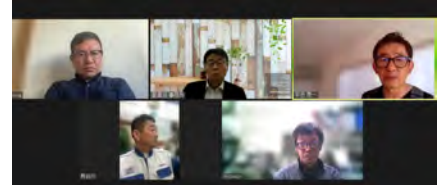


正副理事長会開催

11月1日(水)13:30より、Zoomによる会議が全員参加により開催されました。10日に開催される理事会に向け、次の内容を検討しました。

・新入会賛助会員について・新入会組合員について(2社)・日車協連の動きについて・組合員の実態調について・高度化車体整備士講習について・加藤理事からの追加議題について

詳しくは愛車協HPの総委員会活動に報告書を掲載します。



自動車車体整備士養成講習が始まりました



今年度の教育事業の一環である自動車車体整備士養成講習が三河教育センターで10月17日(火)から開講しています。

受講者は前回より11名多い、29名(内訳:組合員・賛助会員8名・員外21名)が受講されています。

日程は来年3月3日までの22日間行われ、座学は三河教育センターで実施、実技は(株)三光社(平岩理事長)で行われます。

高度化車体整備技能講習開催のお知らせ

- ①回数:2回開催
- ②日時:令和5年12月10日(日)・令和6年2月6日(火)
- ③場所:1回目(株)三光社 2回目(株)エイニーズガレージ
- ④講師:平岩理事長・飯島副理事長
- ⑤参加目標:各回30名
- ⑥費用:7,700円

先進安全自動車対応優良車体整備事業者は必修の講習となっていますので必ず1名の参加をお願いします。

特定整備工場の申請状況

特定整備工場制度開始に伴う取得済工場数は、10月末現在愛知県全体で3,659工場(愛整振情報)が電子制御装置整備を取得しており、愛車協組合員(130社)の取得社数は次のとおりです。

- ①整備主任者等資格取得講習者数:142人
- ②電子制御装置整備認証取得者数:104社
- ③②の内電子制御装置整備のみの取得者数:16社



軽自動車の車検証が2024年1月から電子化されます

電子車検証の券面に掲載されない事項

- 所有者の氏名・住所 ○使用者の住所、使用の本拠の位置
 - 有効期間の満了する日 ○備考欄の一部（牽引車情報など）等
- ⇒ICタグに記録

自動車検査証 (サイズ:A6+ICタグ部分(105×177.8mm))

令和6年1月以降電子化後の自動車検査証（電子車検証）の券面には、継続検査、一部の変更記録申請等により電子車検証の券面記載事項の変更を伴わない基本的な情報を券面に記載されます。

○ 電子車検証券面に記載がなく、ICタグのみに格納される情報にあっては、新たな電子車検証を発行することなく、ICタグ内の情報の書換えが可能となります。

- 券面記載事項に変更がある場合には、軽自動車検査協会事務所等において電子車検証の交付（発行）が必要。
- 記録等事務代行制度により委託を受けた代行者によるICタグ内の情報の書換えのみの場合は、軽自動車検査協会事務所等への出頭は不要となります。

- 電子車検証の券面には、有効期間や使用者住所、所有者情報が記載されないため、車検証情報閲覧アプリを活用し、当該情報の確認が可能。なお、国土交通省が提供している閲覧アプリで令和6年1月から軽自動車の電子車検証の閲覧も可能となります。
- 車検証情報閲覧アプリでは、車検証情報の確認のほか、車検証情報のファイル出力（Json、XML、CSV、PDF形式）、電子車検証に出力されている情報と同等の二次元コードの出力、車検証情報以外の情報（リコール情報等）の確認が可能です。

詳しくは軽自動車検査協会のHPで確認してください。 https://www.keikenkyo.or.jp/keikyo_001962.html

販売案内

愛車協では8月号でお知らせした看板に続き、「愛車協コアラマーク」の特大丸ステッカー（直径約40cm）も斡旋販売しています。550円（税込み/送料別）工場のアピールに如何でしょうか。



車両法91条により特定整備を実施したときは、特定整備記録簿に概要等を記載しなければならないと規定されています。

電子制御装置（レーダー等）が供えられたバンパー等交換を行った場合には自動車整備記録簿の記載が必要になります。

自動車車体整備を行う組合員様へは、自動車車体整備記録簿1冊（50枚つづり）の購入をお勧めします。1,100円（税込み/送料別）購入希望の組合員様は、愛車協事務局までお知らせください。



余談

気が付けば今年もあと2か月となりました、1年が長いようで短く感じます。

今月は行事が目白押し、正副理事長会に始まり、理事会、監事監査、意見交換会、合同研修と毎週行事が続きます。

11月は寒さも一段と強くなり冬の訪れを実感する時期になりますが、来年に向けて考え始めないといけないタイミングであると思います。

来月から師走、暦も駆け足で過ぎ去っていきます。計画や予定から乗り遅れないように頑張っていこうと思います。

